



BUSINESS REPORT

FUJI ビジネスリポート

第44期 - 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで -

株式会社 藤商事



JASDAQ
(証券コード 6257)



I aru idea.



ここに、愛があるアイデアがある。



パチンコ遊技機
「CR テリーテュース マイティマウス」



パチンコ遊技機
「CR ゴースト ニューヨークの幻」

夢見る人に次々と。ヒト味違う“オモシロ”さ！

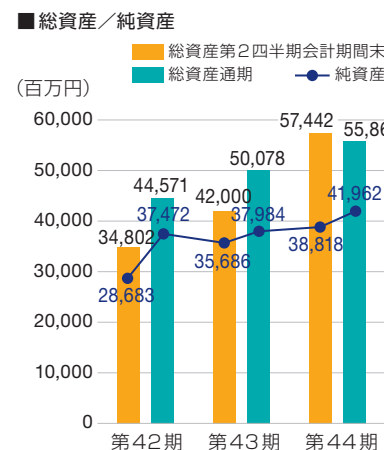
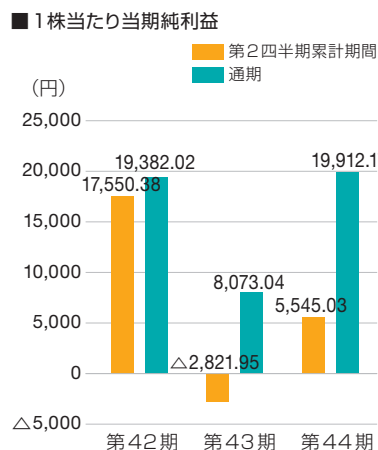
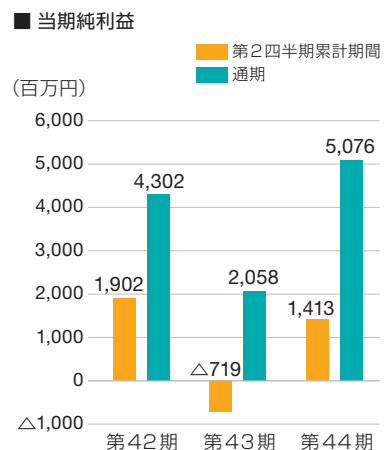
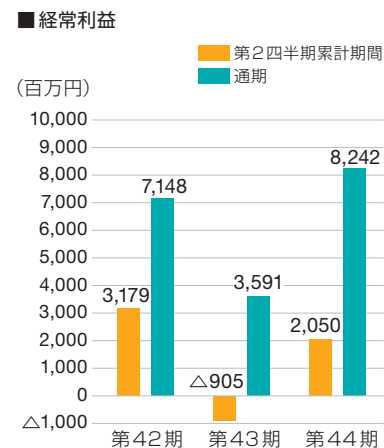
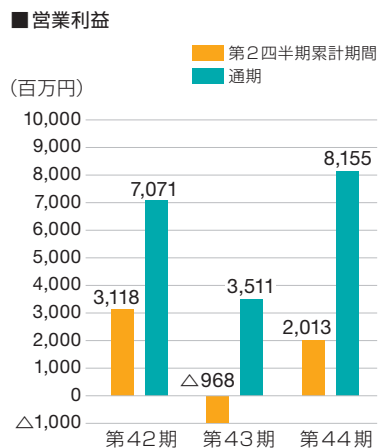
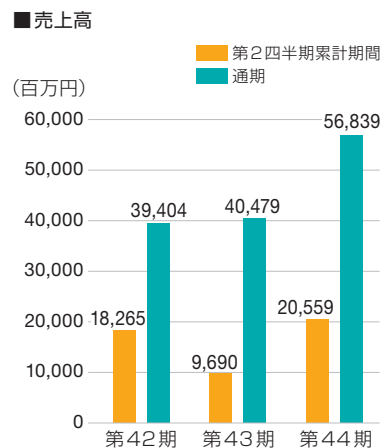


パチンコ遊技機
「CR 宇宙戦艦ヤマト2」



パチスロ遊技機
「パチスロ アカギ」

TM & © 2008 Viacom International Inc. All Rights Reserved.
TM & © 2008 CBS Operations Inc. MIGHTY MOUSE and related designs and logos are trademarks of CBS Operations Inc. All Rights Reserved.
TM & © 2008 Paramount Pictures. All Rights Reserved.
©東北新社 © 福本伸行/竹書房



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに第44期ビジネスレポートをお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当事業年度のパチンコ・パチスロ業界におきましては、パチンコの設置台数が4年ぶりに300万台を回復しましたが、パチンコ参加人口は依然として減少傾向にあり、パチンコホールの経営環境は一段と厳しさを増しています。

このような状況において、当社は、企業理念であります「お客様の繁栄を売ろう」のもと、パチンコホール様・ファンの皆様双方の満足にお応えできるヒット機種の創出に、全力で取り組んできました。

そして、企画部・開発部が中心となって、コーポレートスローガン「ヒト味違う“オモシロ”さ!」を追求し、商品性を高めた遊技機を市場に投入してきました。

こうした活動により、販売台数は前期を大幅に上回り、売上・利益のいずれも大きく伸長しました。

当社は、これまでに築き上げてきた技術・ノウハウを駆使して、お客様のニーズをスピーディーに製品に反映させるヒト味違う「ものづくり」に、引き続きチャレンジしていく考えです。

株主の皆様には今後ともご指導・ご鞭撻のほど、心からお願い申し上げます。

平成21年6月

代表取締役社長
松元 邦夫



社長インタビュー

Q1 まずは、当事業年度を振り返っての総括をお願いします。

A1

パチンコホールの経営環境がますます厳しくなる中で、新機種の導入については、話題性・集客力といった要素に加え、高水準の稼働が見込まれる遊技機に絞り込む傾向が益々強くなっています。

こうしたニーズを背景に、当事業年度は、「ヒト味違う」商品性の実現にこだわり続けてきました。具体的には、デザイン・サウンド・シナリオに精通した各分野の専門家と連携しながら、演出力の強化を推し進めると同時に、パチンコ本来のゲーム性と著作権コンテンツの世界観を巧みに融合して、ヒット機種の創出に力を注ぎました。

その結果、市場において注目を集めるスペックを搭載した「CRジュラシックパークMAX」、人気シリーズの第3弾「CR暴れん坊将軍3」、女性をコアターゲットとする「CRゴースト ニューヨークの幻」など、オリジナリティあふれる遊技機を市場に投入し、販売台数の増加につながりました。

また、商品性に磨きをかける取り組みに留まらず、部品の共通化や部材廃棄の低減、さらには生産性向上などに努めたことが、当事業年度の増収増益を後押ししました。

今後さらなる成長を遂げるためにも、パチンコ・パチスロ両事業において、業績拡大に向けた積極的な活動を展開していきます。

業績回復の主な要因

① 3機種の販売好調

「CRジュラシックパークMAX」

- 話題性の高いスペックの搭載
- 益商戦に向けたタイムリーな市場投入

「CR暴れん坊将軍3」

- 大型版權シリーズ第3弾

「CRゴースト ニューヨークの幻」

- 恋愛映画をモチーフにした商品性

② 利益率の上昇

- 販売台数増加による増益効果
- 部材等、廃棄ロスの減少
- 原価低減活動の推進

Q2 続いて、次期の重点施策について教えてください。

A2

上位メーカーグループへの参入を果たすため、次期は3つの重点施策に注力していきます。

まず1つめは、安心してお客様に導入いただける品質ブランドの確立です。パチンコホール様との信頼関係をより一層強めるためには、製品品質の向上とともに、ファンの皆様に快適に遊技を楽しんでいただける機能性の向上が必要不可欠です。その実現に向けて、開発段階における設計検証の強化や、製造現場における人材育成の強化など、生産体制の継続的な改善に努めます。その上に、「面白い・

次期の重点施策

① 安心してお客様に導入いただける品質ブランドの確立

- 機能性・耐久性を満たす製品品質の保証

② 「ヒト味違う」発想による商品力の向上

- 新規性・新鮮味あるゲームシステム・演出の開発
- ユーザーの視点に立った商品性分析・検証による機種開発の強化

③ 業績計画の着実な達成

- 販売計画の必達
開発から販売までのトータル的なプロモーション戦略
- 利益率の向上
リードタイム・コスト戦略
- 開発計画の必達
商品性向上と納期管理の徹底
- 瞬発力のある部材調達・生産体制の構築
さらなる効率化の推進

楽しい・何度打っても飽きない」遊技機を開発し、お客様に長く愛される品質ブランドを作り上げていきます。

2つめは、「ヒト味違う」発想による商品性の向上です。昨年は、出玉性能の高いタイプの遊技機の商戦が活況となりましたが、今後の市場においても、時代のニーズを捉えた製品をタイムリーに投入していくことが重要となってきます。幅広い年齢層に対応したゲームフローや演出などを採り入れ、シリーズ化を見据えた商品力ある看板機種を生み出していくことにより、販売シェアの拡大を図ります。

3つめは、業績計画の着実な達成です。効果的な新機種投入を実現するための開発スケジュールの管理や、部材調達・生産面における利益改善活動などを通じて、成長性をさらに高めます。

Q3 最後に、株主還元に対する基本的な考え方を教えてください。

A3

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様に適正な利益還元を図ることを経営の重要課題と位置づけています。

そのため、配当につきましては、継続した配当を基本方針としつつ、経営成績および配当性向などを総合的に勘案し、実施してまいります。

今後とも株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。





光の放射線が、あらゆる場面で激LOVE演出を導く！
天国の光役物

心の高鳴りとリンクし、激しい愛と期待度を極限に高める！
LOVEハート役物

七色に輝く神秘的な光のカーテンがチャンスを知り！
光のカーテン役物

恋の舞台は、ニューヨークのとある一室。



超・純愛パチンコ

Love Pach
CRゴースト

ニューヨークの幻
TM & © 2008 Paramount Pictures. All Rights Reserved.

経営成績に関する分析

当期の経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の影響が实体经济に波及し、企業収益を圧迫するとともに、雇用調整の実施により個人消費が低迷するなど、景気は後退局面を迎えております。

パチンコホール業界におきましては、平成19年のパチンコ参加人口が前年比約210万人減少の1,450万人（(財)社会経済生産性本部「レジャー白書2008」）にとどまるなど、依然として減少傾向が継続しております。

このような環境のもと、各パチンコホールは、大手法人を中心とした新台入替による集客戦略のほか、手軽に安く遊べるタイプの遊技機や、低貸玉営業の拡大など、パチンコ遊技機を中心に置いた営業の確立に取り組み、これが広く定着しました。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機では前年に引き続き、話題性の高い版權を採用した遊技機が主流と

なりましたが、特に年度の後半には、高水準の稼働が期待できる出玉性能の高いタイプのパチンコ遊技機に対する需要が高まりました。このような出玉性能を備えたタイプの販売台数が増加した反面、その他のタイプの販売台数につきましては、相対的に減少する傾向となりました。

パチスロ遊技機では、5号機移行後のパチスロファンの減少や稼働の低下に対応するため、パチンコホールではパチンコ遊技機の新台入替を重視した営業を強化したことから、市場全体の販売台数が低調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社は急速に変化する市場環境を踏まえ、年齢・性別を問わず、幅広いファン層に対応した「ヒット味違う」魅力あふれるゲーム性を追求することにより、販売台数の確保に努めてまいりました。

当事業年度の業績につきましては、パチンコ遊技機では6機種を市場投入し、販売は概ね順調に推移いたしました。

また、パチスロ遊技機では、「パチスロ アカギ」を発売し、厳しい市場環境のもとではありましたが、前事業年度を

上回る販売台数を確保いたしました。

以上の結果、当事業年度の業績につきましては、売上高568億39百万円(対前期比40.4%増)、営業利益81億55百万円(同132.2%増)、経常利益82億42百万円(同129.5%増)、当期純利益50億76百万円(同146.7%増)となりました。

事業の部門別の状況は次のとおりであります。

■パチンコ遊技機事業

パチンコ遊技機事業につきましては、「CR鞍馬天狗」(平成20年4月発売)、パチンコホールの注目度が高いタイプの遊技機としてタイムリーな発売となった「CRジュラシックパークMAX」(平成20年7月発売)、大型版權シリーズ機種第3弾「CR暴れん坊將軍3」(平成20年9月発売)、「CRテリチューンズマイティマウス」シリーズ(平成20年10月発売)、恋愛映画をモチーフにした「CRゴーストニューヨークの幻」シリーズ(平成20年11月発売)、「CR宇宙戦艦ヤマト2」シリーズ(平成21年3月発売)などを市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は194千台(対前期比33.1%増)、売上高は550億43百万円(同37.3%増)となりました。

■パチスロ遊技機事業

パチスロ遊技機事業につきましては、麻雀漫画とのタイアップ機種「パチスロ アカギ」(平成20年9月発売)を市場投入し、販売台数は5千台(対前期比325.0%増)、売上高は17億96百万円(同346.3%増)となりました。

次期の見通し

昨年の金融危機以降、金融機関の融資姿勢は硬化しており、パチンコホール業界におきましても、新台入替に伴う

資金調達は厳しい状況が続いております。

また、国内経済の急激な悪化による個人所得の減少、生活防衛意識の高まりやレジャーに対する支出抑制の動きとも相俟って、パチンコ・パチスロファンの減少も懸念され、パチンコホールの経営環境は、一段と厳しさを増すことが見込まれます。

このような状況に対し、昨年度のパチンコホールでは集客の柱として、高い出玉性能を備えたパチンコ遊技機の営業を強化したことにより、同タイプの遊技機商戦は活況となりました。

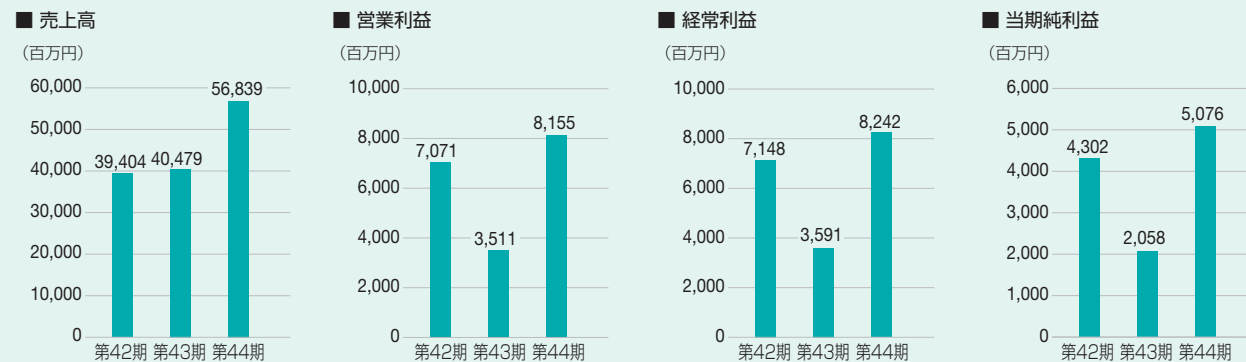
今後につきましても、遊技機市場のさらなる活性化に向けて、多様なタイプの遊技機の開発にも積極的にチャレンジすることにより、幅広いファンのニーズを満たす遊技機を提供したいと考えております。

平成22年3月期につきましては、パチンコ遊技機では、本年5月上旬から納品を開始しております、当社オリジナル機種「CRレーザーシャトル」シリーズの販売が順調に推移いたしました。また、現在、次機種として「CR サンダーバード 国際救助隊発進!」シリーズの販売活動を進めております。

今後の新機種につきましても、多彩なジャンルからの版權採用と、長期稼働を重視した作り込みによる商品ラインナップを予定しております。ファンの皆様に心から楽しんでいただけるような、「ヒット味違う」魅力的な新機種を効果的なタイミングで市場投入することにより、販売台数の確保に努めてまいります。

パチスロ遊技機につきましては、本年4月から新機種「COBRA -THE SLOT-」の販売を開始しており、準備が整い次第、順次新機種を発売してまいります。5号機への移行後、パチスロ遊技機は稼働低迷が続いておりますが、開発協力会社との連携による開発力の強化を図り、商品性を備えた新機種をコンスタントに発売してまいります。

財務ハイライト



■ 貸借対照表

単位：百万円

科目	当事業年度 (H21.3.31現在)	前事業年度 (H20.3.31現在)	科目	当事業年度 (H21.3.31現在)	前事業年度 (H20.3.31現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	41,307	35,611	流動負債	12,512	10,811
現金及び預金	26,190	21,303	買掛金	6,978	9,226
有価証券	2,101	1,101	未払金	1,439	698
受取手形	1,878	4,891	未払法人税等	2,785	314
売掛金	5,065	3,972	賞与引当金	460	316
たな卸資産	3,670	2,364	その他	848	256
繰延税金資産	714	438	固定負債	1,391	1,283
その他	1,685	1,539	退職給付引当金	623	530
固定資産	14,559	14,466	その他	768	752
有形固定資産	9,417	10,016	負債合計	13,903	12,094
建物	2,499	2,584			
機械及び装置	1,120	1,643			
工具器具備品	1,317	1,261			
土地	4,363	4,363			
その他	116	163			
無形固定資産	188	228	純資産の部		
投資その他の資産	4,952	4,222	株主資本	41,966	37,973
投資有価証券	1,518	287	資本金	3,281	3,281
長期前払費用	2,571	3,098	資本剰余金	3,258	3,258
繰延税金資産	555	538	利益剰余金	35,426	31,433
その他	308	298	評価・換算差額等	△3	10
			その他有価証券評価差額金	△3	10
資産合計	55,866	50,078	純資産合計	41,962	37,984
			負債純資産合計	55,866	50,078

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

単位：百万円

科目	当事業年度 (H20.4.1~ H21.3.31)	前事業年度 (H19.4.1~ H20.3.31)
売上高	56,839	40,479
売上原価	33,651	25,436
売上総利益	23,188	15,043
販売費及び一般管理費	15,033	11,531
営業利益	8,155	3,511
営業外収益	174	136
営業外費用	87	57
経常利益	8,242	3,591
特別利益	30	34
特別損失	21	303
税引前当期純利益	8,252	3,321
法人税、住民税及び事業税	3,458	1,575
法人税等調整額	△282	△312
当期純利益	5,076	2,058

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当事業年度 (H20.4.1~H21.3.31)	前事業年度 (H19.4.1~H20.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,860	3,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,890	△4,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,082	△1,461
現金及び現金同等物の増減額	4,887	△1,542
現金及び現金同等物の期首残高	21,303	22,845
現金及び現金同等物の期末残高	26,190	21,303

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書

当事業年度 (H20.4.1~H21.3.31)

単位：百万円

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	3,281	3,258	31,433	37,973	10	10	37,984
当期変動額							
剰余金の配当			△1,083	△1,083			△1,083
当期純利益			5,076	5,076			5,076
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					△14	△14	△14
当期変動額合計	—	—	3,993	3,993	△14	△14	3,978
当期末残高	3,281	3,258	35,426	41,966	△3	△3	41,962

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

設立 昭和41年10月1日
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
 従業員数 372名
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の開発、製造、販売

役員

代表取締役社長 松元邦夫
 取締役副社長 松元正夫
 専務取締役 井上孝司
 常務取締役 永田和政
 取締役 松元恵子
 取締役 辻田隆
 社外取締役 坪本浩一郎
 常勤監査役 近藤邦博
 社外監査役 堀弘二
 社外監査役 川添嗣夫

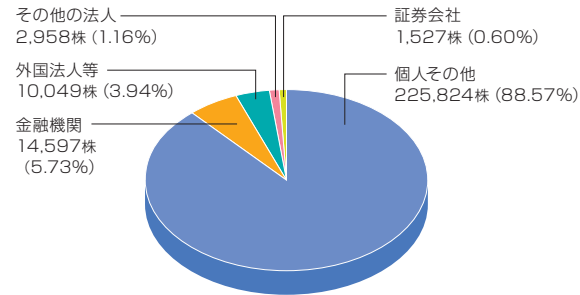
事業所

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)
 東京開発事業所
 東京支店 横浜営業所 広島営業所
 大阪支店 八王子営業所 高松営業所
 札幌営業所 静岡営業所 福岡営業所
 青森営業所 名古屋営業所 熊本営業所
 仙台営業所 金沢営業所 鹿児島営業所
 千葉営業所 京都営業所
 埼玉営業所 神戸営業所

株式の状況

1) 発行可能株式総数 800,000株
 2) 発行済株式の総数 254,955株
 3) 株主数 6,747名

所有者別株主分布



4) 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
松元邦夫	95,560	37.48
松元正夫	65,626	25.74
釣谷香揚子	24,280	9.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,110	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,496	1.37
藤商事従業員持株会	2,892	1.13
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピーエルシー	2,865	1.12
松元恵子	2,600	1.02
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,466	0.58
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505025	1,262	0.49

トピックス

■ WBCバンタム級防衛戦 長谷川穂積選手を応援

平成21年3月に開催されましたWBCバンタム級王者・長谷川穂積選手の8度目の防衛戦に際して、スポンサード活動を行いました。試合は1ラウンドTKOで、長谷川選手の勝利となりました。



■ 社会貢献活動への取り組み

藤商事では、良き企業市民として地域社会との良好な関係を築くため、積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

● 環境保全活動への参加

平成20年11月に開催されました日遊協(社団法人日本遊技関連事業協会)および、回胴遊商(回胴遊技機商業協同組合)主催の植樹活動に参加するなど、各地域の環境保全活動に積極的に参加しています。

● 「日遊協ボランティア団体応援基金」への支援活動

当基金は、児童・青少年の健全育成や高齢者の福祉増進、環境の保全、災害被災地等に於ける生活支援のボランティア活動を行う団体などを助成するために設立され、当社も平成20年12月に、基金への寄付を通じて支援を行いました。

ホームページ紹介

藤商事のホームページでは、皆様楽しんで頂けるよう、様々な情報をご提供しています。



ホール様専用サイトでは、支援活動の一環としてPOP素材提供などを行っています。



携帯メディアを使った情報サービスも行っていきます。

藤商事公式携帯サイトでは、多彩なコンテンツを公開中!!

CONTENTS

・アプリ ・着うた ・待受画像 ・待受アプリ
 ・着メロ ・着ボイス ・動画 ・待受フラッシュ

[iメニュー](#)
[トップメニュー](#)
[メニューリスト](#)

[メニュー/検索](#)
[カテゴリで探す](#)
[ケータイゲーム](#)

[趣味/娯楽](#)
[懸賞・くじ・キャンペーン](#)
[パチンコ/パチスロ](#)

[パチンコ/パチスロ](#)
[パチンコ/パチスロ](#)
[パチンコ/パチスロ](#)

●「i-mode」及び「i-モード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
 ●「EZweb」はKDDI株式会社の登録商標です。
 ●「Yahoo! ケータイ」及び「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

月額 315円(税込)

株主メモ

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話照会先 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
 ホームページ http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
 同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

BUSINESS REPORT



<http://www.fujimarukun.co.jp>



この冊子は環境に優しい大豆インキを使用しています。
再生紙を使用しています。